

特集5

「いつも」の活動を「もしも」の防災にしましょう！

災害時には、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」の3つが重要です。いつ起こるか分からないもしもの災害に備えて、いつもの生活が自然に防災となるように、日頃から備えましょう。



自助のために、何をどれくらい備えればよいかわからない。



自治会の会長ですが、共助の取り組みについて何をすればよいかわからない

水・食料の備蓄は、ライフラインの復旧に時間がかかることなどから、最低3日分、できれば1週間分の家庭備蓄が望ましいとされています。

1週間分と言われると、とても難しく感じてしまうかもしれませんが、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限が古いものから消費し、消費した分を買い足す方法（ローリングストック）が備蓄のコツです。



まちづくり出前講座を実施しています。また、県が設置している「能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター」では災害への備えを楽しく学べるので、訪れてみるのもいいですね。



災害時に備えた備蓄品の例

- ・ **飲料水** 一人1日3リットルを目安に、3日分を用意
- ・ **食品** ご飯（アルファ米など一人5食分を用意）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、一人最低3日分（できれば1週間分）の食料を備蓄しておきましょう。
- ・ **下着、衣類**
- ・ **トイレトーパー、ティッシュペーパー** など
- ・ **マッチ、ろうそく**
- ・ **カセットこんろ**
- ・ **ビニール袋、ごみ袋**
- ・ **ラップ、アルミホイル**



出前講座

まちづくり出前講座では、防災の担当職員が町内へ出向き、防災に関する情報などについてお話しします。お気軽にご相談ください。

対象

自主防災組織、事業所、学校など

内容

家庭内備蓄について、避難所運営ゲーム（HUG）、自動ラップ式トイレの体験など

能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター

災害に強い地域づくりのため、地震や暴風などの災害時の対処方法を楽しく体験・学習いただける施設です。

開館時間 午前9時～午後4時30分（入館午後4時まで）

入館料 無料

休館日 毎週月曜日（祝日開館・翌日休館）

場所 埼玉県鴻巣市袋30番地

※詳しくは、県ホームページをご確認ください。

令和7年度鳩山町防災訓練を実施しました

令和7年6月1日に鳩山町地域包括ケアセンターにおいて、鳩山町と楓ヶ丘三丁目町内会を中心に、西入間広域消防組合と鳩山消防団（水防団）が連携して、土砂災害を想定した防災訓練を実施しました。

災害はいつどこで起こるか分かりません。訓練などを通じて、日頃の備えと正しい知識をつけることが重要です。



■問合せ 役場総務課
☎296-1214